

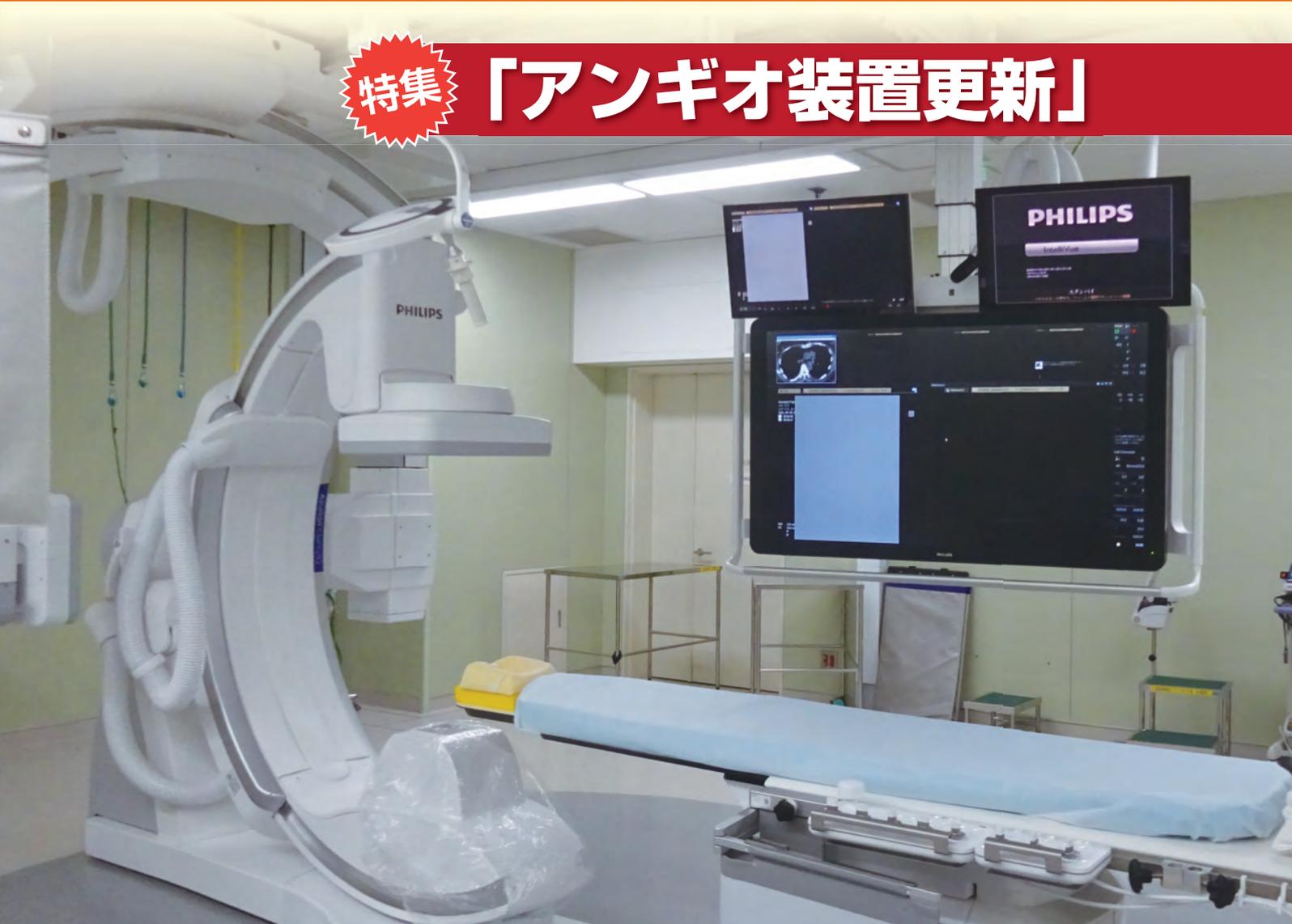


三重中央だより

当院の理念(Principle) ● いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心して質の高い医療を行います。

特集

「アンギオ装置更新」

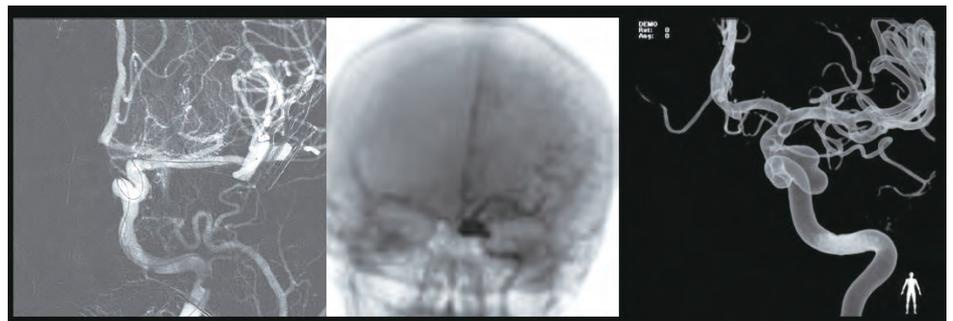


当院に高画質で低被ばくな最新鋭の 血管撮影装置が導入されました！

血管撮影装置でできること

足の付け根や肘、手首などの動脈からカテーテルという細い管をX線透視でリアルタイムに確認しながら目的の臓器まで誘導し、そのままでは認識しづらい血管に造影剤を注入することで血管を影として描き出します。骨やその他の器官など余分な像を差し引いて（サブトラクション）、血管のみを高いコントラストで見ることができます。

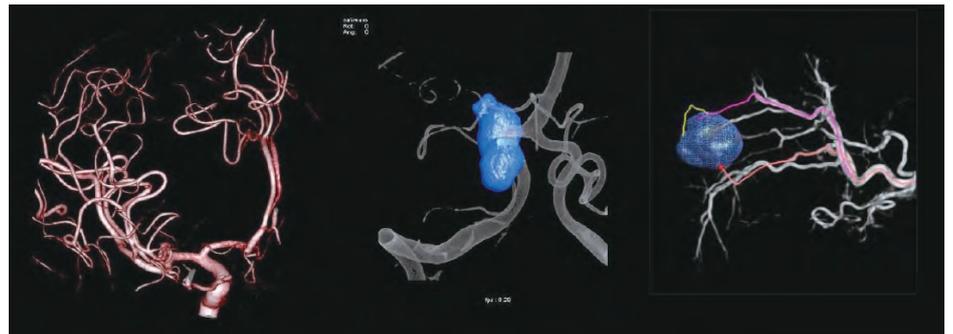
血管の狭窄、動脈瘤、走行の異常や出血箇所を見つけることができ、さらに狭窄した血管をバルーンで内側から広げたり、血栓を取り除いたり、また出血している血管や腫瘍に栄養を送っている血管を詰めたりといった治療が可能です。外科手術に比べて侵襲性が低く、患者様に優しい治療です。



ロードマップ透視

ライブ透視

3D透視



前機種との違い

一回の造影剤注入で同時に2方向撮影ができるようになりました。前回に撮影したベッド位置や撮影角度を記憶しているため、目的の血管を選択しなおす際に前回の画像を利用でき、新たに参照のための造影をする必要がありません。このため造影剤の量を減らし、手技時間を短縮することができます。

58インチの大型モニターに透視画像や心電図などの生体情報、目的の血管を選択するための参照画像を大きく好きな配置で表示することができ、より安全に検査や治療が行えます。



モニター



操作室

3D画像や断面像を作成することで、複数の血管がどのように配置しているかが明らかになり、腫瘍に向かう血管を自動で特定し道筋をロードマップ表示したり、動脈瘤の大きさを計測するなど手術前の計画に役立てます。

被ばく低減処理により、例えば頭部の血管撮影では60パーセント、心臓の撮影では66パーセント被ばく線量を削減できるようになりました。

血管撮影室スタッフ

赴任された先生方

小児科 中村 雅也

2021年7月より三重中央医療センター小児科で働かせていただいております中村雅也と申します。三重大学を卒業後、奈良県で初期研修を行い、その後三重県に戻り小児科専攻医として3年間三重県内の医療機関で勤務していました。まだ勉強中の立場であり、いろいろとご迷惑おかけすると思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



小児科 鈴木 雅大

初めまして。2021年7月より三重中央医療センター小児科に赴任いたしました鈴木雅大と申します。愛知県出身で三重大学を卒業後、初期研修は京都府宇治市で行い、小児科後期研修より三重県に戻って現在に至ります。部活はハンドボールをしていました。小児科3年目ですが小児科の広さ、奥深さを実感する毎日です。微力ではありますが、子供たちのために一生懸命頑張っていきたいと思っています。私生活では趣味はドライブや靴のお手入れです。最近スニーカーにお金を使いすぎて困っています。下駄箱に入りきらなくなっています。何とか我慢しようとはしますが我慢できずに買ってしまう。どうぞよろしくお願申し上げます。



小児科 堀江 潤

初めまして、この7月から小児科に赴任しました、堀江潤と申します。出身は高田高校→三重大学と生粋の津市民です。当院赴任前は県立総合医療センターで勤務していました。小児科は他科の先生にたくさんお世話になる科です。まだまだ未熟で至らぬ点も多いかと思いますが、あたたかいご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



サプライズ花火 ありがとうございます

7月31日に朝日屋サプライズ花火にご招待いただきました。朝日屋サプライズ花火は、新型コロナウイルスに対応している医療従事者とその家族を対象に、「新型コロナウイルス感染症と最前線で闘っている医療従事者にエールを送るために」と企画していただきました。当日は日中の猛暑が嘘のように海風が心地よい夕暮れでした。日頃から感染症対策に留意して、医療機能継続のために緊張感をもって勤務している中で、朝日屋サプライズ花火は日常を忘れて夏を感じることができる癒しの時間になりました。まだ新型コロナウイルス感染症の収束は見えませんが、皆様の応援を糧に引き続き感染症対策に取り組み、地域のニーズに応えられる医療機関として尽力して参ります。



～頑張っているすべての人へ心から惜しみない賞賛を～

ボランティアさんの活動記録について

人のために行動することが出来る人【ボランティア】って単純にすごいですよね。当院でもそんなボランティアを行って下さっている方がいます。今回はそんな当院を支えている方をご紹介します。

この方は正面玄関で患者さんの案内・誘導または、車椅子の補助をされています。毎週月曜日の午前中を担当されています。ボランティアをする姿は格好良く、実年齢をお聞きしたらびっくりするくらい若々しい姿で、患者さんからも職員からもとても愛されています。

ぜひそのお姿を写真に取りたいと懇願してみたのですが、すごく恥ずかしがり屋な方だったので断られてしまいました。ですので、写真はありません。ご了承ください。皆さんにもぜひ活躍しているところを見ていただきたいので、月曜日の午前中に当院に足を運んでみて下さい。

感謝の意を込めて、院長より9月に感謝状をお渡しさせていただきました。長い間、本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

また、病院の中庭に植える花の苗を寄贈していただいた方もおられました。この場をお借りして御礼申し上げます。



ボランティアさんの募集について

誰かの役に立ちたい・誰かのためになりたいと思っている人は多いのではないのでしょうか？ そんな人が今より一人でも増えれば、世界は優しくなると思います。

今、ボランティアを始めてみたいと思っている方。当院でボランティアを始めてみませんか？ 下記のようなお仕事をさせていただける方を募集しています。



- 外来での案内業務
- 外来、病棟での車椅子等の患者様への介助
- 病院の環境美化作業
- その他、ご相談ください



“今が人生で一番若い”

“自分を変えられるのは自分だけ”

“今を変えたいなら心を自由に赴くままに”

“心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる”

“わたしたちはいつでもいっしょに当院を盛り上げてくれるあなたを待っています。”

【問い合わせ先】

三重中央医療センターボランティア事務局 地域医療連携室 医療相談室

電話 059-259-1211 (代)

担当/津川・高橋

—高齢者のがん治療について—



治療中の全てのがん患者さんへ

がん診療部長 谷川 寛 自

地域がん診療連携拠点病院である当院では、入院ならびに外来通院で多くのがん患者さんが様々な苦痛や不安を抱えながら病気と向き合い日々治療を続けておられます。担当医は患者さんとそのご家族の方々に正しく情報を発信して丁寧に病状説明を行い最善の治療方針をご提案致します。そして治療に伴う様々な困りごとに関しては主治医と共に各種専門職が一丸となってチームで支えていきたいと思っております。

そこで日頃患者さんが抱えておられる問題や疑問に関して、医師だけではなくがん診療に携わるいろいろな職種のひとつが毎回テーマを決めて今後この「三重中央だより」でお伝えしていこうと企画いたしました。

まず第1回目は「高齢者のがん治療の特徴」についてお話いたします。

現在日本では毎年101万人（2020年）の方が“がん”と診断され治療を受けておられます。そして1981年から現在に至るまで“がん”が日本人の死亡原因の1位のままでその数は右肩上がりです。年間約38万人（2018年）に達しています。日本の人口構成を見ると2025年には団塊の世代の方々がすべて後期高齢者になり、ますます少子高齢化社会となり必然的に“高齢者がん患者”さんが増加します。統計的には65歳以上が高齢者ですが、65～74歳の方が3割、75歳上の方が4割とがん患者さんの7割が高齢者です。

高齢になれば、様々な臓器の機能低下（老化現象）に加え認知機能も低下し、栄養状態も悪かったりで活動力の個人差がとても大きいため、高齢者のがん治療を行う上では実際の実（歴）年齢よりも、想定される治療が身体的に耐えられる状態かどうかがとても重要な判断となります。実際同じ年齢でも、元気な成人と同じ様な治療ができる方と積極的な治療困難な方がおられることはよく経験します。心臓、肺などの臓器疾患、糖尿病などの代謝疾患、運動機能障害など様々な併存疾患を有していたり、多くの薬を服用していたり治療に際して対応が難しいことも多くあります。治療を行う上ではっきりした意思決定ができない患者さんが若い世代に比べて多いのも現実です。手術や抗がん剤などの治療に伴う後遺症が思いのほか強く現れて治療後の生活の質が極端に低下することもありますので、治療をどの様に行うのか、どこまでできるのか総合的な判断が重要です。残された人生において何を大切にしたいかの価値観や時間感覚は患者さんによって全く違います。すなわち若い成人と同等の標準治療だけではなく個別の治療選択対応が強く求められる訳です。また経済的な問題や病院通院など他者の援助者（介護者）の有無も大きな問題となってきます。私たち医療者はこのような様々な問題を十分認識して連携を取りながら皆様のがん治療を支えてまいります。

病気を治す（治癒させる）事は重要ですが、治療に伴う代償も十分考慮して、自分のもっとも希望される治療方法を主治医や様々な専門職と納得いくまで何度でも十分お話をさせていただきます。治療方針決定に迷う時は他の医師の意見を聞くこと（これをセカンドオピニオンといいます）はとても重要ですので遠慮なく担当医にご相談ください。

これからシリーズでがん診療に関して様々なテーマで皆さんに情報発信して参りますので、よろしく願いいたします。

がん相談支援室 制度案内

① 限度額適用認定証(70歳未満)について

医療機関等での窓口のお支払いが高額になる場合、限度額認定証を医療機関等の窓口へ提示すると、窓口でのお支払いが自己負担限度額までとなり、原則、高額療養費(医療費の払い戻し)の申請が不要になります。

入院等が決まったら
すぐにお手続きを!

限度額適用認定証の取得方法

国民健康保険	市役所で申請用紙に記入提出すると、その場で発行されます。
健康保険組合	会社の健康保険組合にお問い合わせの上、申請をしてください。
全国健康保険協会 (協会けんぽ)	全国健康保険協会各支部に申請するか申請用紙を郵送すると、限度額適用認定証が送られてきます。申請用紙は全国健康保険協会ホームページからダウンロードできます。 申請用紙は当院でもご準備できます。

70歳未満の方

区分	1ヶ月の自己負担限度額	多数該当
区分ア 健保: 標準報酬月額83万円以上 国保: 年間所得901万円超	$252,600 + (\text{総医療費} - 842,000) \times 1\%$	140,100円
区分イ 健保: 標準報酬月額53~79万円 国保: 年間所得600~901万円	$167,400 + (\text{総医療費} - 558,000) \times 1\%$	93,000円
区分ウ 健保: 標準報酬月額28~50万円 国保: 年間所得210~600万円	$80,100 + (\text{総医療費} - 267,000) \times 1\%$	44,400円
区分エ 健保: 標準報酬月額26万円以下 国保: 210万円以下	57,600円	44,400円
区分オ 住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

※食事代や差額のお部屋代、文書代など保険適用外の費用は対象になりません。
※月別、医療機関別、入院と外来、歯科は別で計算します。

多数該当: 高額療養費の支給回数が過去1年間で4ヶ月以上になる場合、4回目以降は自己負担限度額が軽減されます。



ご質問等ございましたら
お気軽に患者支援センターまでご相談ください。



「里山こころの便りー柵原の窓から」

アルコールの害について

今回はアルコールの害についてお伝えします。アルコールによる健康障害についてまず思いつくのは肝臓への負担ではないでしょうか。アルコールを飲むと腸管から吸収され、肝臓に運ばれます。肝臓でアルコールが分解されますが、アルコールはエネルギーが多く（アルコールランプが燃えるのはこのためです）、肝臓で貯蔵されると脂肪肝となります。このままアルコール摂取が続くと肝硬変に至ることがあります。脂肪肝では回復が可能です。肝硬変になると回復は困難となります。また、消化器系では膵臓への影響も大きく、急性膵炎や慢性膵炎なども生じます。急性膵炎は生命的に大変危険な状態となることがあります。

アルコールを飲むと酔いますね。酔うのはアルコールが脳神経に影響するためです。脳は重要な臓器ですので、血液中の悪い物が脳に届かないようにバリアがあるのですが、アルコールは小さな分子ですので、このバリアを通過してしまい、酔うのです。脳神経が長期間アルコールにさらされると脳神経が壊れてしまい、アルコール性の認知症となってしまうこともあります。

アルコールが脳神経に到達するように、アルコールは全身の臓器に影響を与えます。その中には骨への影響もあり、骨がもろくなることもあり、骨折のリスクが高くなります。よってふらつくだけでなく、骨そのものがもろくなって骨折するのです。さらに、骨髄がやられると血液を作ることが困難となり貧血なども生じます。ですので、アルコールの害を考えるとときには肝臓だけではなく、体全体を考える必要があるので。



村田昌彦

柵原病院
院長



「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5
TEL. 059-259-1211 内
地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別途公表いたします。特典は変わる場合があります。)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

■会員名
住所 _____
氏名 _____
電話 _____

編集

後記

三重県に赴任し早1年半が経ちました。本来なら、イセエビ、アワビ等の海産物や、日本一の松阪牛等のおいしいものを食べ、伊勢志摩を始めとする自然豊かな絶景の地を目指した観光巡りなどで、三重県三昧を送っているところですが、赴任以来、コロナ・コロナの自粛生活で行動範囲も久居近辺となっています。在り来りですが、このような状況が早く終息して、三重県を思いっきり楽しみたいと願うばかりです。
(sugar)

発行所

三重中央医療センター

院長 田中 滋 己

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

<http://www.miechuo-hosp.jp/>

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●●

津泌尿器科皮膚科診療所

ホームページ：<https://www.tsu-uro.com/>



当診療所は、義父が久藤内科にて32年間診療を行っていた場所を継承する形で、2021年5月に開設しました。泌尿器科、皮膚科を中心に診療を行っています。地域医療に貢献できるように、三重中央医療センターの先生方と密に連携して診療を行ってまいります。



院長：曾我 倫久人
 住所：〒514-0032 津市中央2-11
 電話：059-228-2646 FAX：059-224-4964
 診療科目：泌尿器科・皮膚科
 休診日：木曜日、土曜午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:00 ~ 18:00	○	○	○	△	○	△	△

新町整形外科診療所

ホームページ：<http://www.shinmachi.ortho-clin.com/>



れ複数の医師が診察しております。
 また、鈴鹿医療科学大学からのサポートを受けて、リハビリテーションにも力を入れています。
 今後も三重中央医療センターと連携をとり、スタッフ一同楽しく仕事をしながら、地域の方々が気軽に受診・相談できる診療所を目指し頑張っていきます。

院長：荒木 俊光
 医師：(整) 細井 哲・井上 玄
 (精) 井上 桂・小森 照久
 (内) 矢田健一郎
 住所：〒514-0046 津市大園町4-29 大園荘1F
 電話：059-222-5111 FAX：059-222-8585
 診療科目：整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・内科・精神科
 休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:00 ~ 18:30	○	○	○	△	○	△	△

※精神科・内科の診察については お気軽にお問い合わせください



津新町駅の西約1kmに位置し、昨年開院10周年を迎えました。
 整形外科をはじめ、精神科、内科を標榜し、それぞ

たけうち内科クリニック

ホームページ：<http://takeuchi-naikaclinic.com/>



2021年5月に久居野村町（久居体育館横）に開院しました。

内科疾患・消化器内科疾患を中心に診療しています。胃カメラや大腸カメラも対応可能ですがん検診や二次検診など病気の早期発見に努めております。また、スムーズな受診が出来る様にWEBでの事前問診・

予約も可能ですのでご希望の際はご活用ください。今後ともよろしくお願ひ致します。



院長：竹内 俊文
住所：〒514-1113 津市久居野村町872-2
電話：059-264-7920
診療科目：内科・消化器内科・内視鏡内科
休診日：木曜午後、土曜午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00～18:00	○	○	○	△	○	△	△

※内視鏡検査は予約制となっています。

にしかわ小児科

ホームページ：<https://www.niskid.jp>



当院は小児のアレルギーと、感染症に力を入れて診療に取り組んでおります。

舌下免疫療法も積極的に取り入れた治療を行い、その効果に高い評価をいただいております。

コロナの終息も未だ見通せず、不安を抱えた発熱患者様も日々多く受診されています。

感染予防と対策の徹底、適切な検査と十分な説明を

心掛け、「いつでも安心して受診できる小児科、気軽に相談できるかかりつけ医」でありたいと日々心掛けています。

院長：西川 康
住所：〒514-1118 津市久居新町612-5
電話：059-256-3500 FAX：059-256-5553
診療科目：小児科・アレルギー科・予防接種・乳幼児健診
休診日：木曜午後、日曜、祝日
予約電話：059-254-0550
ネット予約：<http://nisped.mdja.jp>
予防接種：毎日（要予約）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	▲	○	○	○	○	▲	△
14:00～15:00	△	☆	☆	△	☆	☆	△
15:00～18:00	○	○	○	△	○	△	△

▲：8:30～12:00 △：15:00～17:00 ☆：乳幼児健診、予防接種



外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。
●病棟入院患者様の緊急処置・手術・検査等のため、外来診療に制限を設けなければならないことがあることを御理解ください。

2021年10月1日現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	中久木 哲也【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】	
	2診	北出 卓【消】	福岡 秀介【循】	田口 由紀子【消】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】	
	3診	新谷 卓也【循】	倉田 一成【消】	坂倉 康正【呼】	渡邊 典子【消】	北出 卓【消】	
	4診	内藤 雅大【呼】	宗吉 祐樹【糖】	井田 紗矢香【糖】	西村 正【呼】	岩中 宗一【呼】	
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診		岩中 宗一(2,4,5週)	井端 英憲(午後再診)		
	呼吸器内科	6診	井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	大本 恭裕	
	(整形1診)		藤本 源				
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦		中久木 哲也(午前再診)	福岡 秀介
	消化器内科	7診	子曰 克宣	北出 卓	渡邊 典子	田口 由紀子	倉田 一成
	内科	8診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	井田 紗矢香【糖】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】		田中 剛史【糖】
		10診	坂倉 康正【呼】	内藤 雅大【呼】	内藤 雅大【呼】	奥田昌也(1,3週)【糖】	岡野 智仁【呼】
		(泌尿器1診)	宗吉 祐樹【糖】			田中 崇(2,4,5週)【糖】	
	(整形2診)		西村 正【呼】				
	腎臓内科	6診	村田 智博				
	肝臓内科	5診			吉川 恭子(1,3週)【消】		
(整形3診)							
ペースメーカーチェック		第1月 午後			吉川 恭子【消】		
					第1木 午前		
脳神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	賀川 賢	北川 長生	
	2診	大内 智洋	賀川 賢	賀川 賢	大内 智洋	吉丸 公子	
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (初診以外は完全予約制)	午前	1診	井戸 正流(初診)	小川 昌宏	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	小川 昌宏	山本 和歌子		内菌 広匡	神谷 雄作(1,3,5週) 大森 あゆ美(2,4週)
		3診	田中 滋己	櫻井 直人(初診)	大森あゆ美(1,3,5週) 北村 創矢(2,4週)	小川 昌宏	小川 昌宏
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
	午後	1診	三重大学医師	2週間・1ヶ月健診	内菌 広匡	田中 滋己(1,3,5週) 櫻井 直人(2,4週)	大森 あゆ美(1,3,5週) 佐々木 直哉(2,4週)
		2診	小児神経外来 内菌 広匡(2,4,5週)	NICU連携 (心工コ外)	佐々木 直哉(1,3週)	内菌 広匡(1,3,5週) 神谷 雄作(2,4週)	成長外来
		3診	小川 昌宏		小川 昌宏	山本 和歌子	シナジス外来
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
外科	1診	湯浅 浩行	下村 誠	松田 明敏	信岡 祐	谷川 寛自	
	2診	信岡 祐	辰巳 亜依	谷川 寛自		湯浅 浩行(2,4週)	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						谷川 寛自	
乳腺外科(予約のみ)						石飛 真人	
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
	3診	今野 千尋		今野 千尋			
形成外科				石浦 良平(2,3,5週) 三重大学医師(4週)			
脳神経外科	1診	石田 藤麿		谷岡 悟	田中 克浩	石田 藤麿(偶数週)	
	2診		石田 藤麿		谷岡 悟	田中 克浩	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)						西川 拓文	
呼吸器外科	1診		安達 勝利		渡邊 文亮	安達 勝利	
	(脳外1診)		渡邊 文亮				
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 麻雄	
皮膚科(完全予約制)		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
	2診		荒瀬 栄樹		荒瀬 栄樹	荒瀬 栄樹(初診)	
	(整形1診)				武内 祐太郎		
産科・婦人科	午前	1診(初診)	山口 恭平	前川 有香	張 凌雲	加藤 麻耶	奥村 亜純
		2診	加藤 麻耶	日下 直子	柏原 優花	前川 有香	山口 恭平
		3診	張 凌雲		吉村 公一	吉村 公一	
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
	午後	1診	山口 恭平	前川 有香	張 凌雲	加藤 麻耶	奥村 亜純
		2診	加藤 麻耶	日下 直子	柏原 優花	前川 有香	山口 恭平
		3診	張 凌雲	産後一ヶ月健診	吉村 公一	吉村 公一	
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
眼科		三羽 晃平	三羽 晃平	三羽 晃平	三重大学医師	三羽 晃平	
耳鼻咽喉科	午前(初診)		西田 幸平	伊藤 由紀子	西田 幸平	西田 幸平	
	(火曜日・金曜日は紹介のみ)				伊藤由紀子(2・4・5週)		
	午前(再診予約のみ)		伊藤 由紀子			伊藤 由紀子	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来				
放射線科(画像診断)		奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	
放射線治療 (事前予約のみ)	午前		二見 友幸				
	午後	笹岡 政宏		笹岡 政宏	二見 友幸		
リハビリテーション科		山口 敏郎		田中 雅		高北 久嗣	
歯科・歯科口腔外科 (金曜日は再診のみ)	午前	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀	奥田 悠大/福原 大樹	
	午後	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/三重大学歯科医	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀 若林 宏紀/奥田 悠大	柳瀬 成章/若林 宏紀	
看護外来(予約のみ)		第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第2・3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	フットケア外来 がん看護相談外来	

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわずれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談 要予約(自費)
月・火曜日 午前診療	水曜日 午後診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・木・金曜日 午前診療	金曜日	金曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	形成外科(石浦)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)
脊椎・脊髄外科専門 (要予約・紹介)	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・臍胸	中耳外来 (予約)	助産師外来 (予約)	おっぱい外来 (予約)	乳腺外科 (予約)
金曜日 (10時~12時30分)	火・木・金曜日 午前診療	火曜日 午後診療	月・水・木・金曜日 午前・午後診療 火曜日 午前診療	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療
脊椎・脊髄外科(西川)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科	産科	乳腺外科(石飛)